

平成〇〇年度委託研究実績報告書(兼収支決算報告書)

平成〇〇年〇〇月〇〇日

独立行政法人 科学技術振興機構  
分任研究契約担当者 殿

契約担当者	研究機関の所在地	
	研究機関	
	部署・職名	
研究者担当者	氏名	公印
	所属部署	
	職名	
	氏名	

本様式は、正本提出を行ってか

【研究課題】・【研究題目】  
研究課題及び研究題目は、契約書中に記載がありますので、参照の上、記入してください

【受入金額(A)】  
変更契約額を含む当年度の最終受入金額を記載してください。前年度からの繰越額はここに含めず、下欄「前年度分」に記載してください。

国際科学技術共同研究推進事業(戦略的国際共同研究プログラム)	
研究課題	〇〇の作製・制御等の〇〇基盤技術
研究題目	〇〇の創出

委託研究費の支出状況は以下の通り。  
研究成果の内訳については、研究実施報告書により別途報告を行っている。

収支決算		(円)						
	合計	直接経費					間接経費	
		計	物品費	旅費	人件費・謝金	その他		
受入金額(A)	31,850,000	24,500,000	5,600,000	900,000	15,000,000	3,000,000	7,350,000	
支出金額(B)	31,872,000	24,522,000	5,700,000	1,300,000	15,500,000	2,022,000	7,350,000	
差引(C)=(A)-(B)	-22,000	-22,000	-100,000	-400,000	-500,000	978,000	0	
返還額(D)	0							
繰越額(E)	0							
差引(F)=(C)-(D)-(E)	-22,000							

【支出金額(B)】  
当年度の支出金額を記載してください。自己負担(使途に制限のない資金(自己資金、寄付金等)を補填して行った執行)がある場合には、当該自己負担額分を含めて記載してください。また、前年度からの繰越額の支出

【返還額(D)】  
当年度末に「返還連絡書」(経理様式5)により報告を行った金額のみ記載してください。当年度中に変更契約を締結して返金を行った金額は、本欄には記載せず、受入金額(A)に反映してください。

【繰越額(E)】  
当年度分の繰越として「繰越報告書」(経理様式6)により報告を行った繰越額を記載してください。前年度からの繰越額はここに含めず、下欄「前年度分」に記載してください。

【差引(F)】  
○プラスの場合: JSTへの返金が必要な額です。JSTが発行する精算通知書に沿って手続きください。  
○マイナスの場合: 当該金額が自己負担額(使途に制限のない資金を補填して行った執行)の場合は、特に手続きは必要ありません。自己負担以外の場合は、備考欄に具体的な内容を記載の上、取り扱いについてJSTへ確認ください。

年度に繰越額が発生している場合には、以下に支出内訳を記載のこと

受入金額(G)	0	0					
支出金額(H)	0	0					
返還額(I)	0	0					
繰越支出額(J)	0	0					
差引(K) (G)-(H)-(I)-(J)	0	0	0	0	0	0	0

【受入金額(G)】・【支出金額(H)】・【返還額(I)】  
前年度の実績報告書で報告を行った前年度の受入金額、支出金額、返還額を記載してください。前年度繰越額が発生していない

【繰越支出額(J)】  
前年度からの繰越額で当年度に支出した支出金額を費目毎に区分して記載してください。(前年度の繰越報告額ではありませんので

備考 自己負担額 22,000円

研究課題及び研究題目は 契約書に記載されておりますので、そちらを参照の上記入してください。